

2025年12月期 第3四半期
決算概要書

株式会社 船井総研ホールディングス
(東証プライム : 証券コード9757)

2025年11月10日（月）

 Funai Soken Holdings



1

エグゼクティブサマリー

2

2025年12月期 第3四半期決算報告

3

業績予想と成長戦略

4

株主還元

参考資料

ビジネスモデル・競争優位性

【本資料に関する注意事項】



エグゼクティブサマリー

今回の決算のポイント

2025年12月期 第3四半期 業績概要	■ 売上高・営業利益とも第3四半期の過去最高業績を達成 ■ 主力の経営コンサルティング事業及びロジスティクス事業は、売上高、営業利益とも2桁成長 ■ 四半期純利益の減少は、五反田オフィス売却に伴う特別損失等によるもの
主要KPI	■ コンサルタント数は前年同期比6.0%増、従業員1人当たり売上高は前年同期比4.2%増 ■ 経営研究会は会員数・月単価ともに過去最高を更新、前年同期比17.1%増 ■ 月次支援は、単価の伸長により前年同期比5.2%増
2025年12月期 通期見通し	■ 過去最高業績の更新となる売上高330億円、営業利益89億円を計画 ■ ROEは過去最高の25%以上、配当は10円増配し、15期連続増配を予定
トピックス	■ インド現地法人「Funai Consulting India Private Limited」を設立（2025年11月） ■ HR Forceと船井総研人的資本経営支援本部が統合し、社名を「船井総研ヒューマンキャピタルコンサルティング」へ変更することを決定（2026年1月） ■ サプライチェーン全体へコンサルティング領域を拡大することを目的に船井総研ロジの社名を「船井総研サプライチェーンコンサルティング」に変更することを決定（2026年1月） ■ 2026年1月1日を効力発生日とする普通株式1株につき2株の株式分割の実施を決議

(1) 連結収益状況

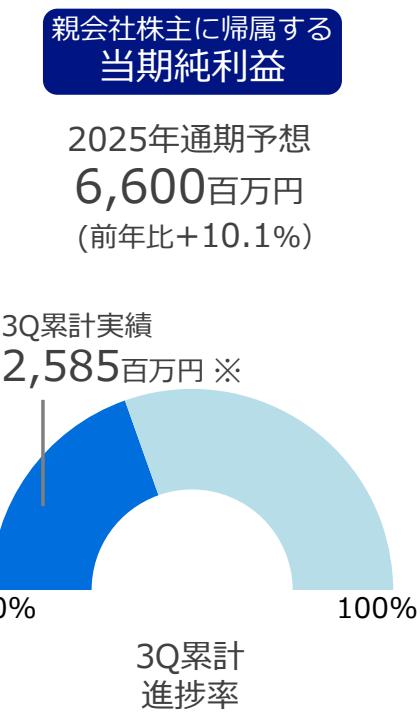
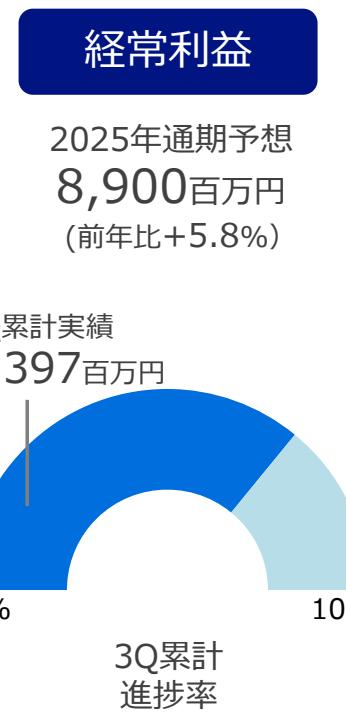
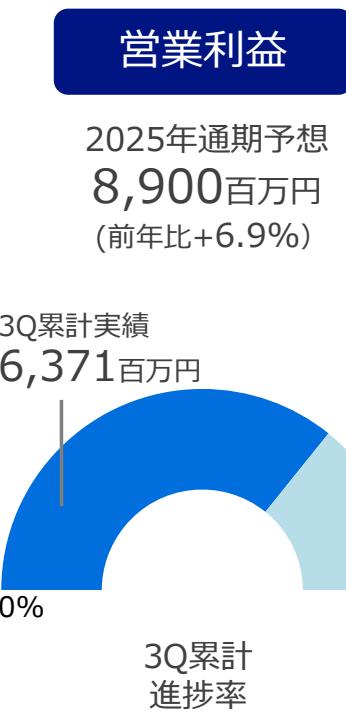
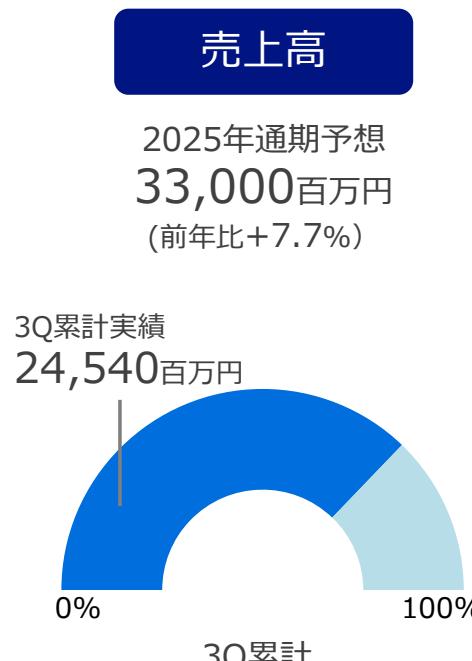
売上高および営業利益は、経営コンサルティング事業およびロジスティクス事業とともに2桁成長

四半期純利益の減少は、第1四半期に五反田オフィス売却に伴う特別損失2,155百万円を計上したこと等によるもの

	2024年3Q累計		2025年3Q累計		
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	前期比（%）
売上高	22,253	100.0	24,540	100.0	+10.3
営業利益	5,945	26.7	6,371	26.0	+7.2
経常利益	5,968	26.8	6,397	26.1	+7.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,043	18.2	2,585	10.5	-36.1※

※四半期純利益の減少は、第1四半期の五反田オフィス売却に伴う特別損失2,155百万円および第3四半期の社宅売却による特別損失277百万円によるもの。
第4四半期において、淀屋橋オフィス売却による特別利益3,155百万円の計上を見込んでおります。

(2) 通期業績予想に対する進捗状況



前年同期：73.0%

前年同期：75.3%

前年同期：75.6%

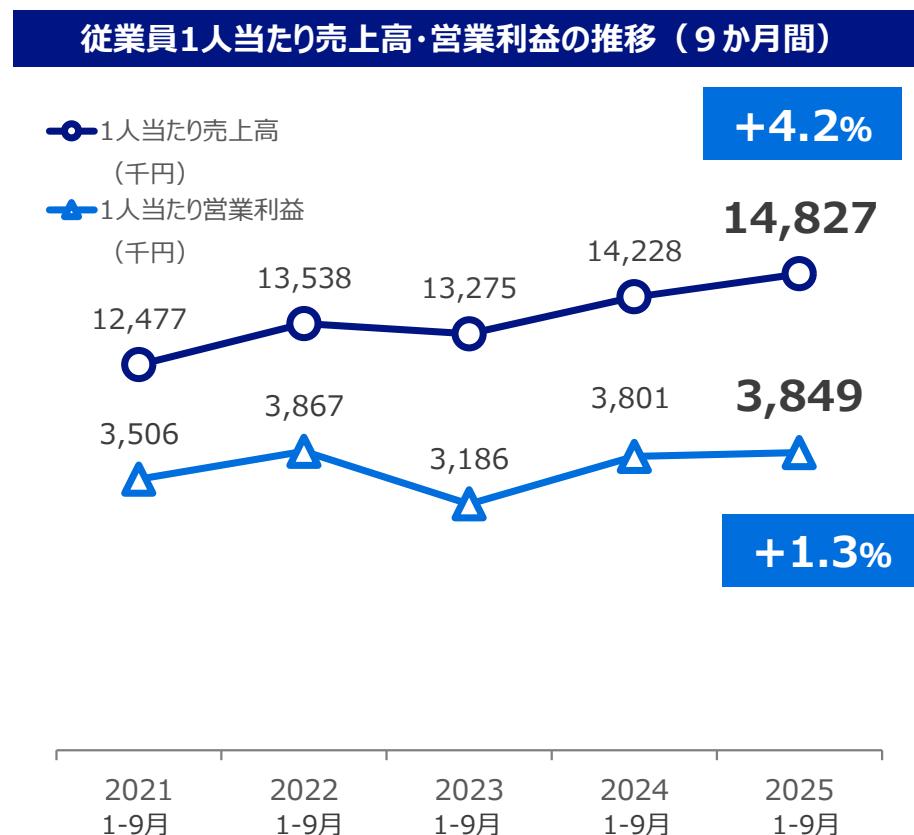
前年同期：73.5%

※四半期純利益の減少は、第1四半期の五反田オフィス売却に伴う特別損失2,155百万円および第3四半期の社宅売却による特別損失277百万円によるもの。第4四半期において、淀屋橋オフィス売却による特別利益3,155百万円の計上を見込んでおります。

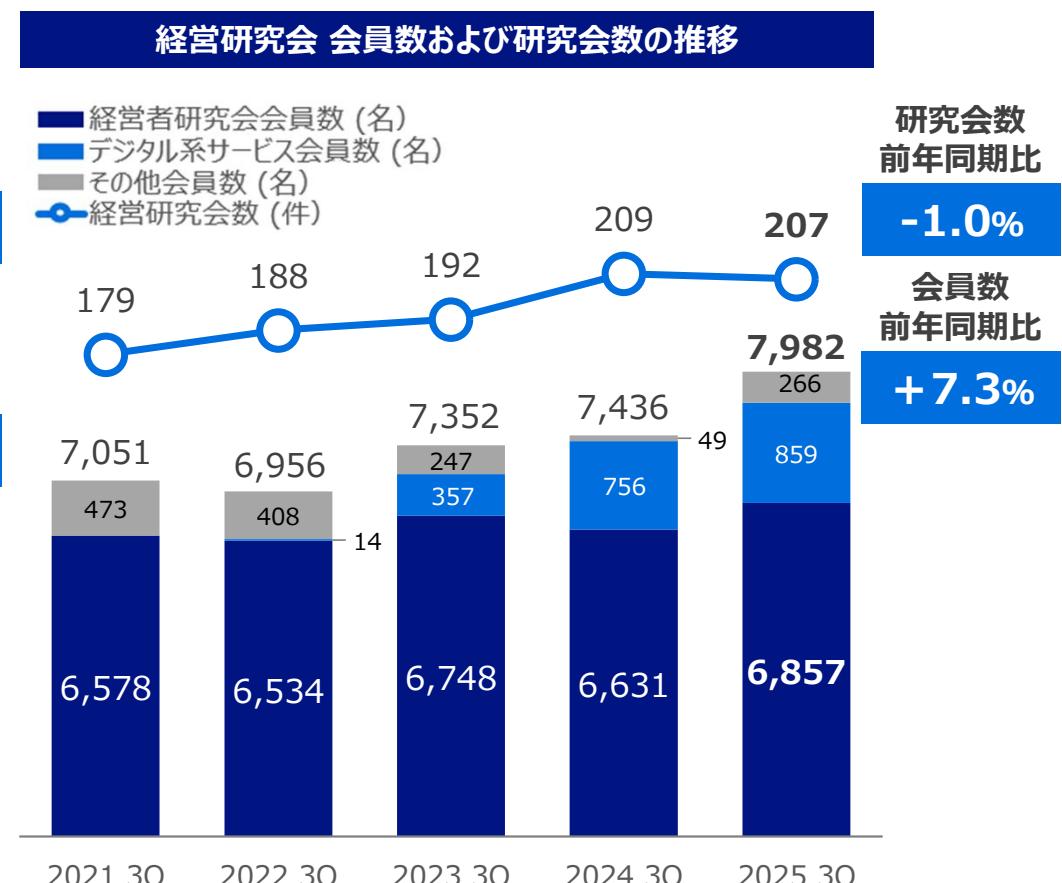
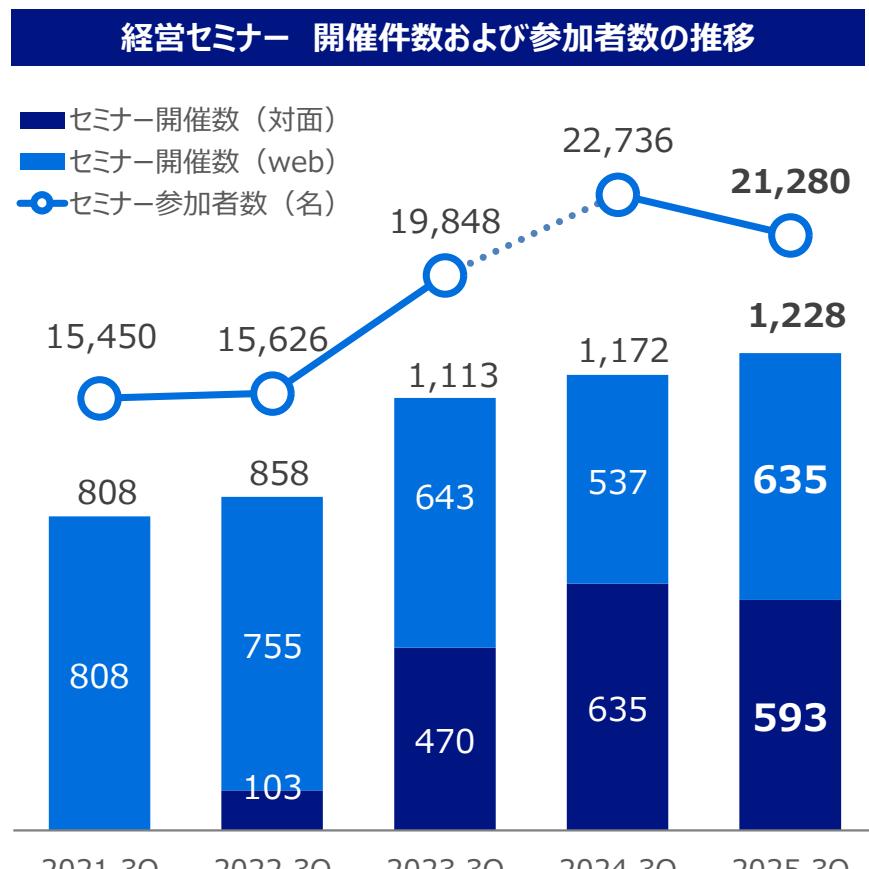
1. エグゼクティブサマリー

(3) 主要KPI指標の推移 =職種別人員および従業員1人当たり生産性の推移=

	2024年 3Q	2025年 3Q
従業員数	1,564名	1,655名
前年同期比	+10名 (+0.6%)	+91名 (+5.8%)
コンサルタント人財	1,039名	1,101名
前年同期比	+40名 (+4.0%)	+62名 (+6.0%)
コンサルタント比率	66.4%	66.5% (+0.1P)



(3) 主要KPI指標の推移 =経営セミナー・経営研究会の実績推移=



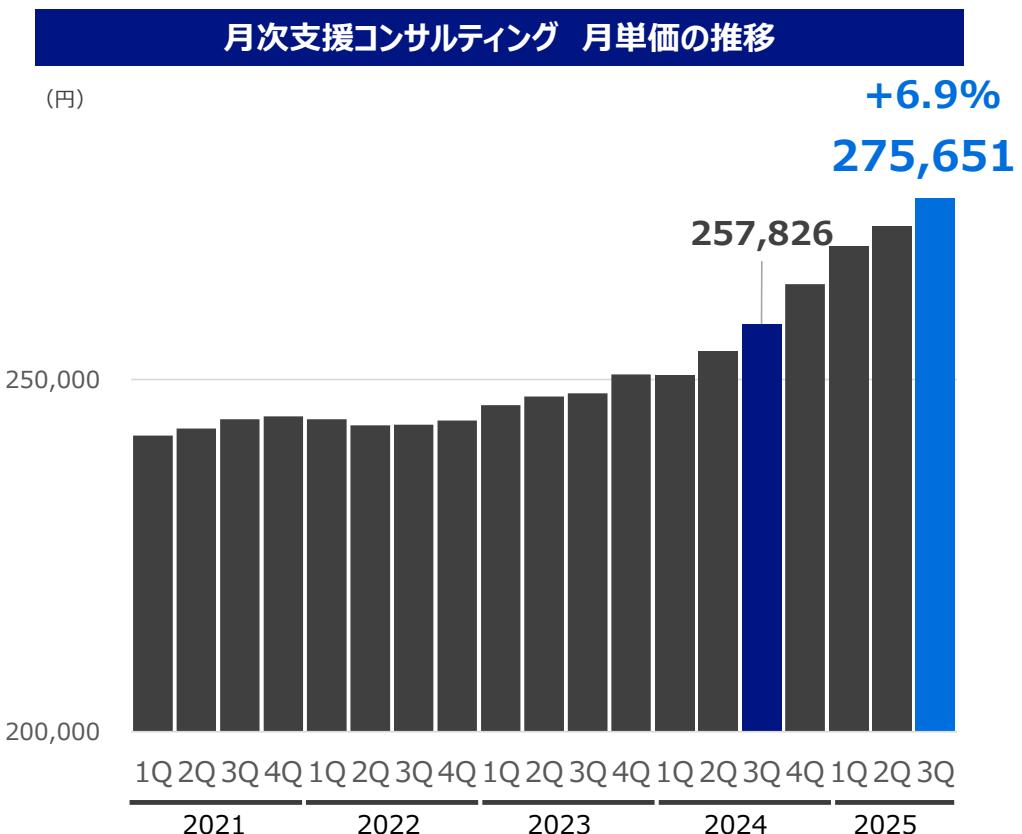
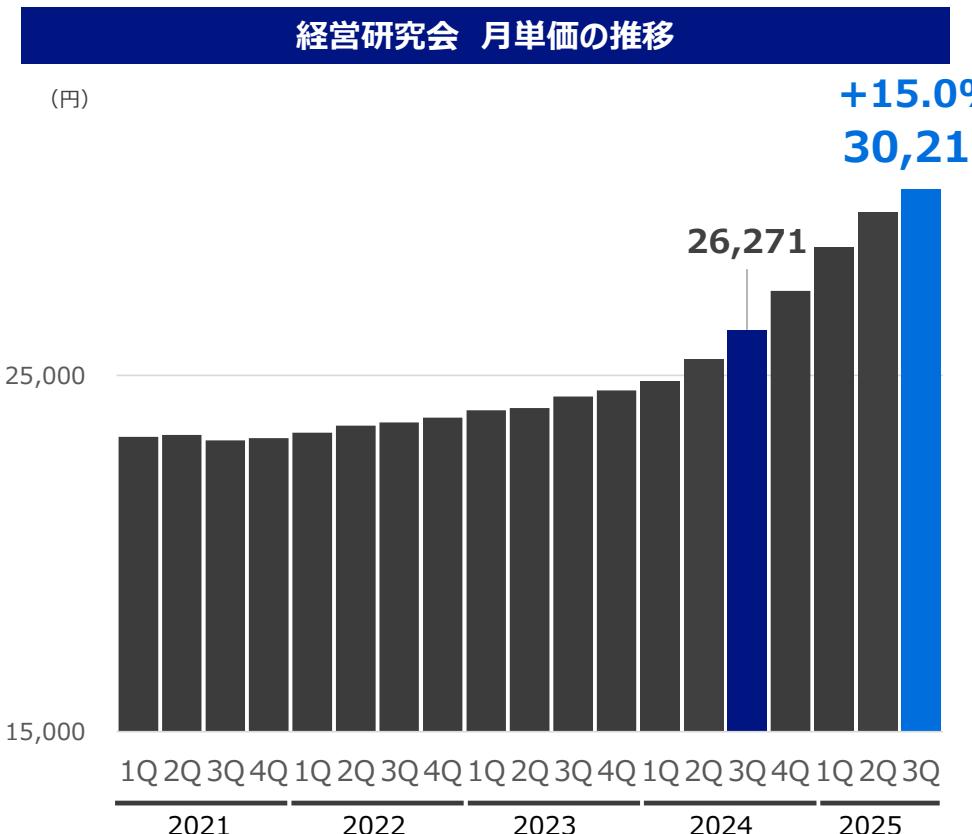
※グループ全社の有料経営セミナー開催数および参加者数実績
(2021~2023年は、船井総合研究所のみの実績値のため参考数値)

※グループ全社の経営研究会会員数および研究会数実績

1. エグゼクティブサマリー

(3) 主要KPI指標の推移 =経営研究会・月次支援 月単価推移=

経営研究会は、2024年4月からの組織的な会費値上げの実施により上昇傾向
月次支援コンサルティングの契約単価も上昇し、前年同期比+6.9%



※船井総合研究所主催経営研究会の月当たり会費の12か月（4四半期）移動平均値

※船井総合研究所の月次支援コンサルティングの1か月当たり契約単価の12か月（4四半期）移動平均値



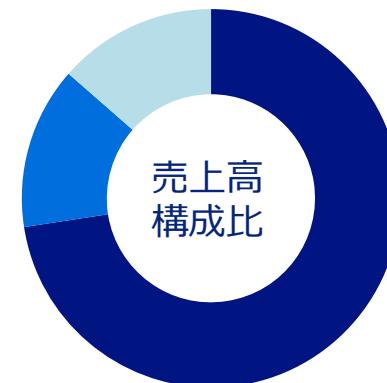
2025年12月期
第3四半期決算報告

2. 2025年12月期 第3四半期決算報告

(1) セグメント別経営成績

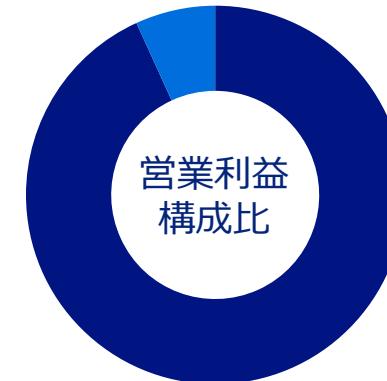
経営コンサルティング事業およびロジスティクス事業は、売上・利益ともに2桁成長

売上高	24年3Q		前年同期比 (%)
	金額（百万円）	金額（百万円）	
経営コンサルティング事業	16,119	17,806	+10.5
ロジスティクス事業	3,084	3,406	+10.4
デジタルソリューション事業	3,049	3,327	+9.1
(内部取引および全社)	0	—	—
合計	22,253	24,540	+10.3



経営コンサルティング事業	72.5 %
ロジスティクス事業	13.9 %
デジタルソリューション事業	13.6 %

営業利益	24年3Q		前年同期比 (%)
	金額（百万円）	金額（百万円）	
経営コンサルティング事業	5,332	6,112	+14.6
ロジスティクス事業	332	449	+35.0
デジタルソリューション事業	73	-160	—
(内部取引および全社)	206	-29	—
合計	5,945	6,371	+7.2



経営コンサルティング事業	95.5 %
ロジスティクス事業	7.0 %
デジタルソリューション事業	-2.5 %

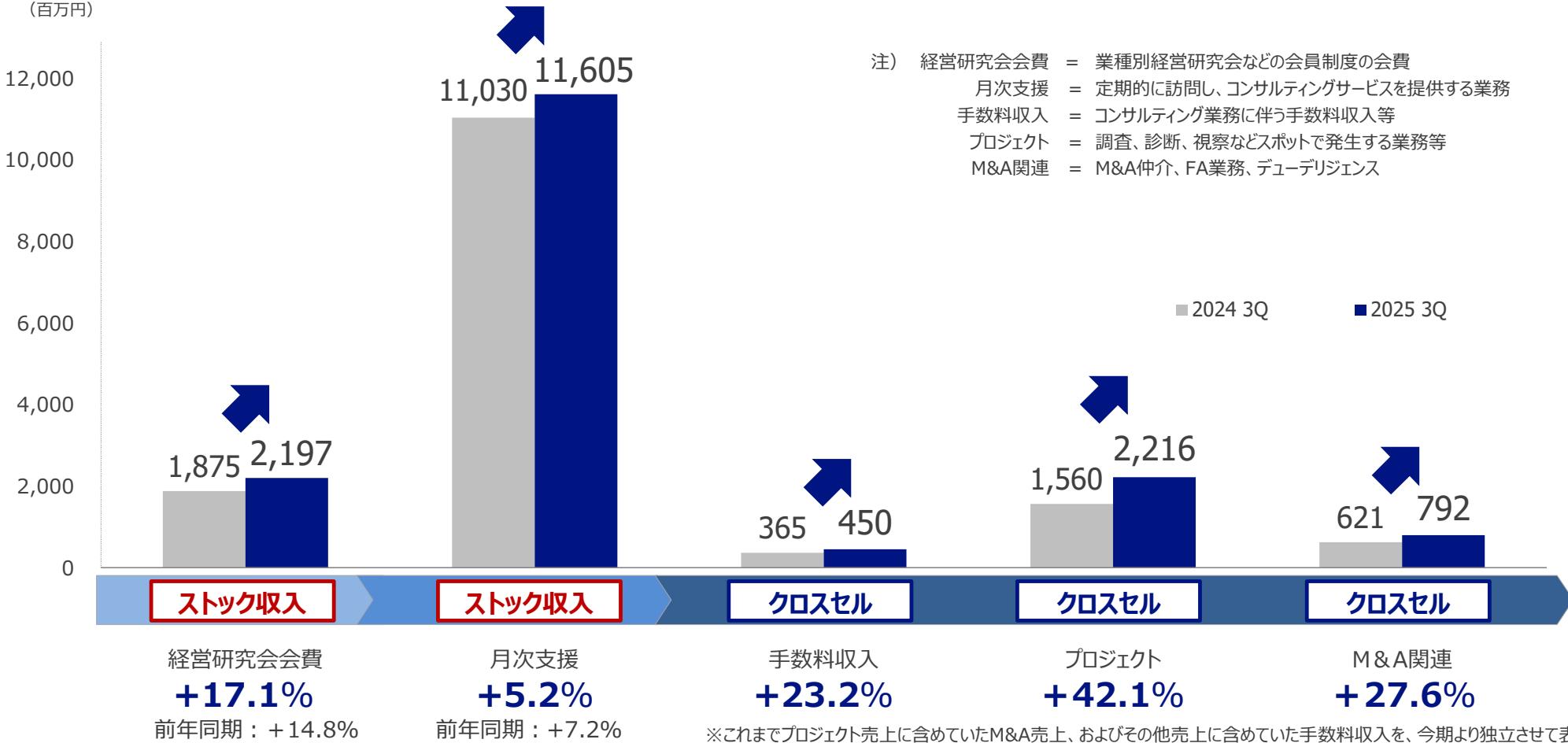
※構成比は内部取引及び全社を除いた数値

2. 2025年12月期 第3四半期決算報告

(2) 経営コンサルティング事業における業績動向 =主な業務区分別売上=

月次支援は着実に拡大。経営研究会会費は会員数、会費単価ともに増加。プロジェクトは補助金コンサルが伸長

(百万円)



前年同期 : +14.8%

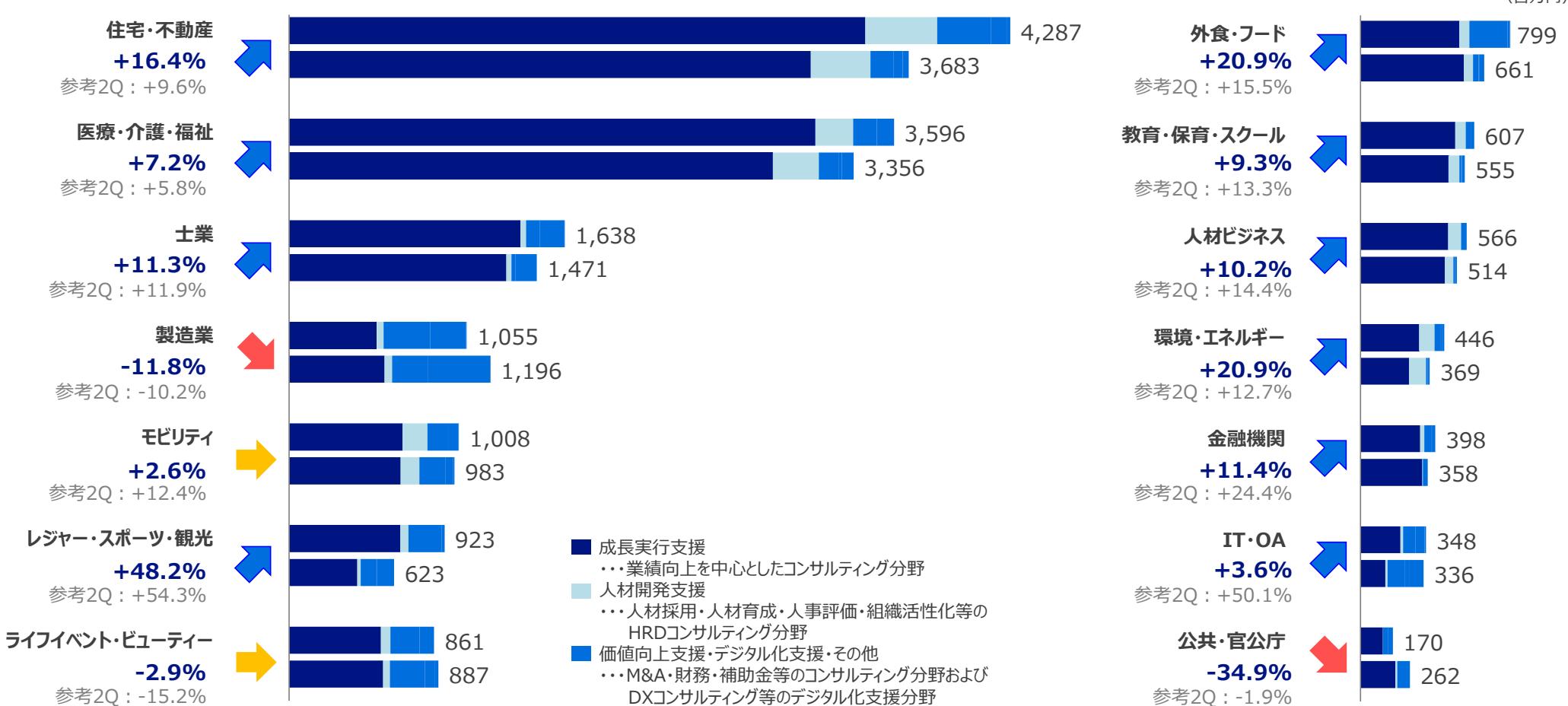
前年同期 : +7.2%

※これまでプロジェクト売上に含めていたM&A売上、およびその他売上に含めていた手数料収入を、今期より独立させて表示

2. 2025年12月期 第3四半期決算報告

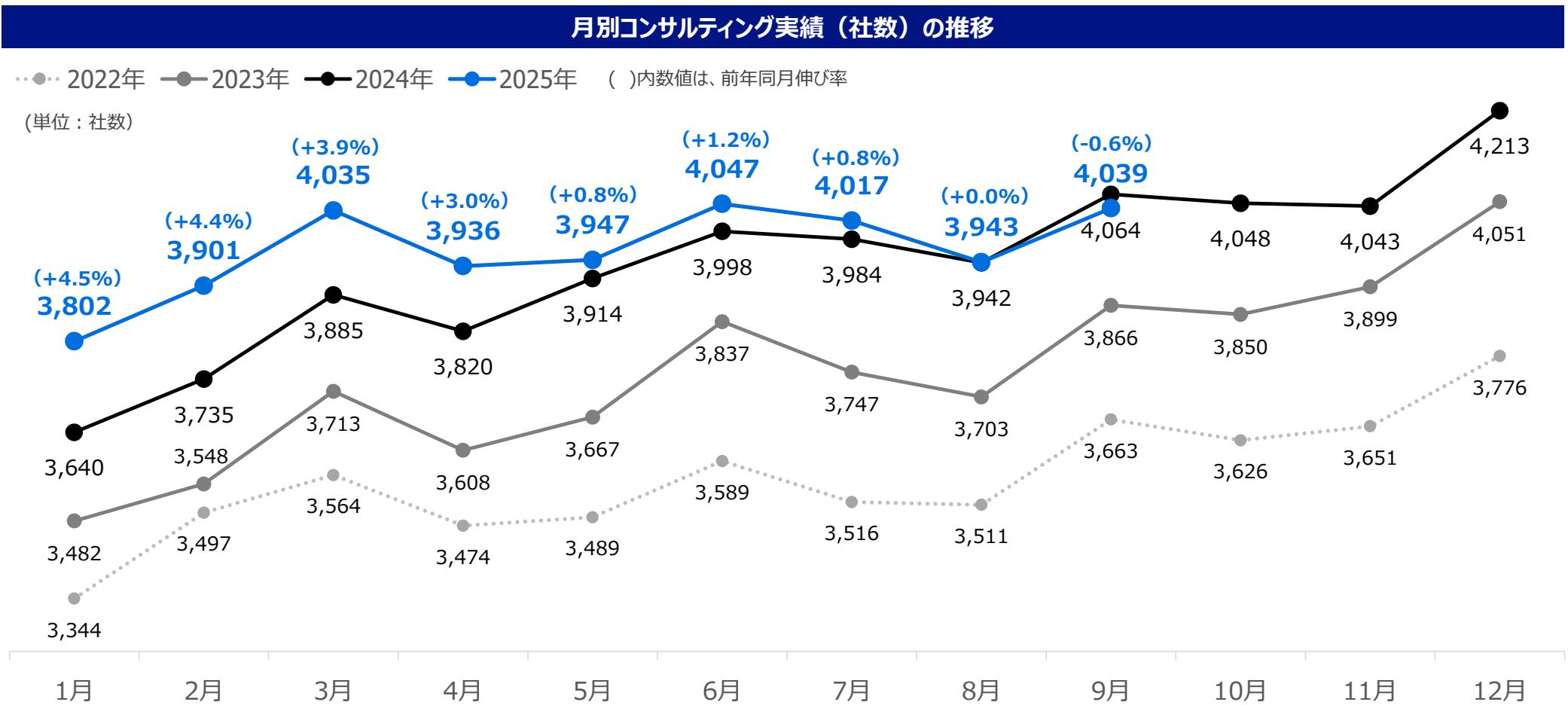
(2) 経営コンサルティング事業における業績動向 =主な業種区別売上=

※各グラフ上段：2025年3Q
下段：2024年3Q



2. 2025年12月期 第3四半期決算報告

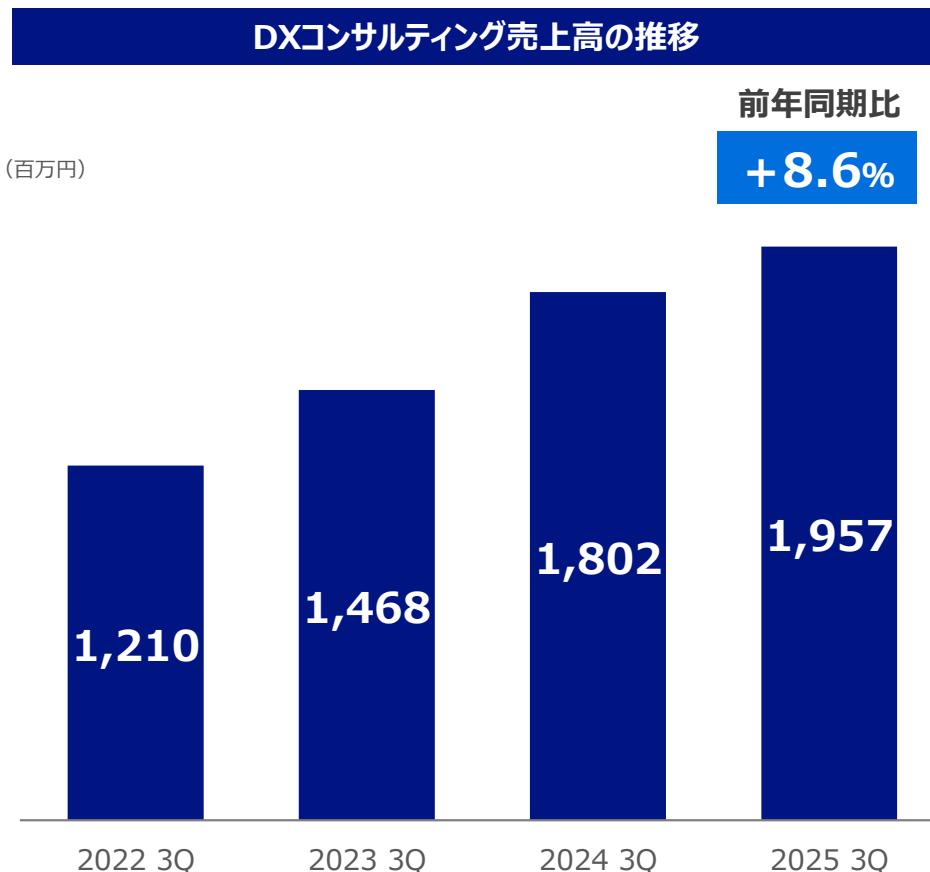
(2) 経営コンサルティング事業における業績動向 =コンサルティング社数=



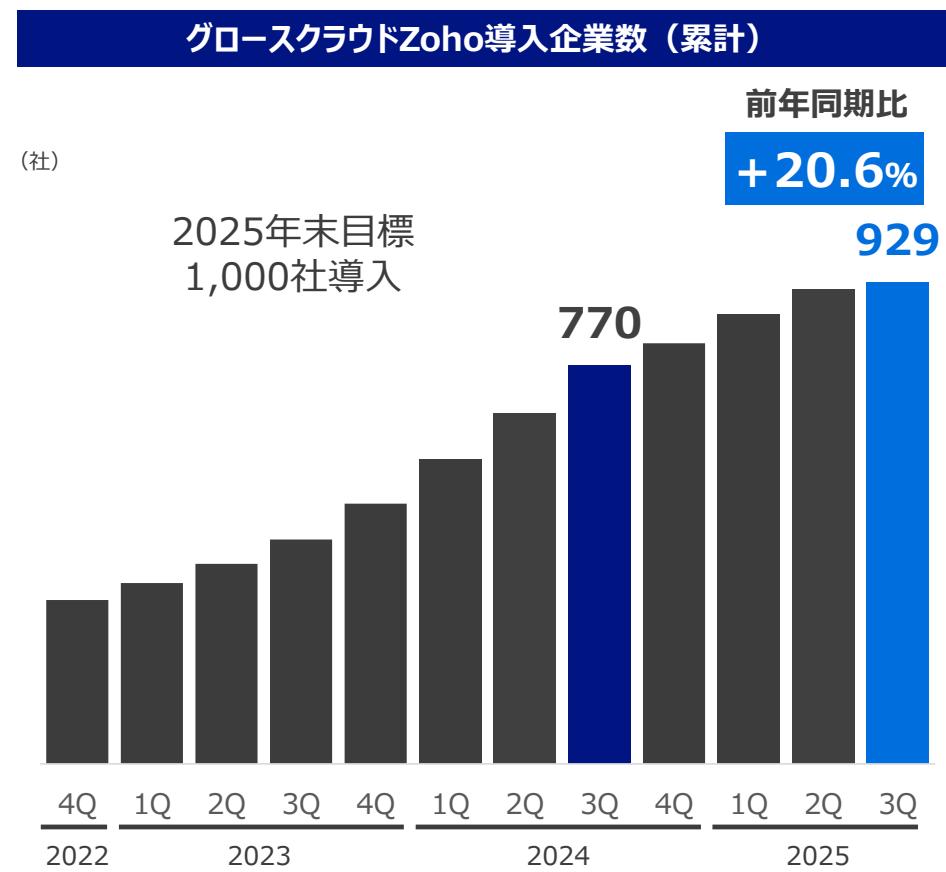
※数値は、経営コンサルティング事業（船井総合研究所、プロシード、船井（上海）、船井総研あがたFAS、アルマ・クリエイション、MIコンサルティング）における月別コンサルティング社数実績（延べ社数・グループ内取引除く）

2. 2025年12月期 第3四半期決算報告

(2) 経営コンサルティング事業における業績動向 =DXコンサルティングサービスの動向=

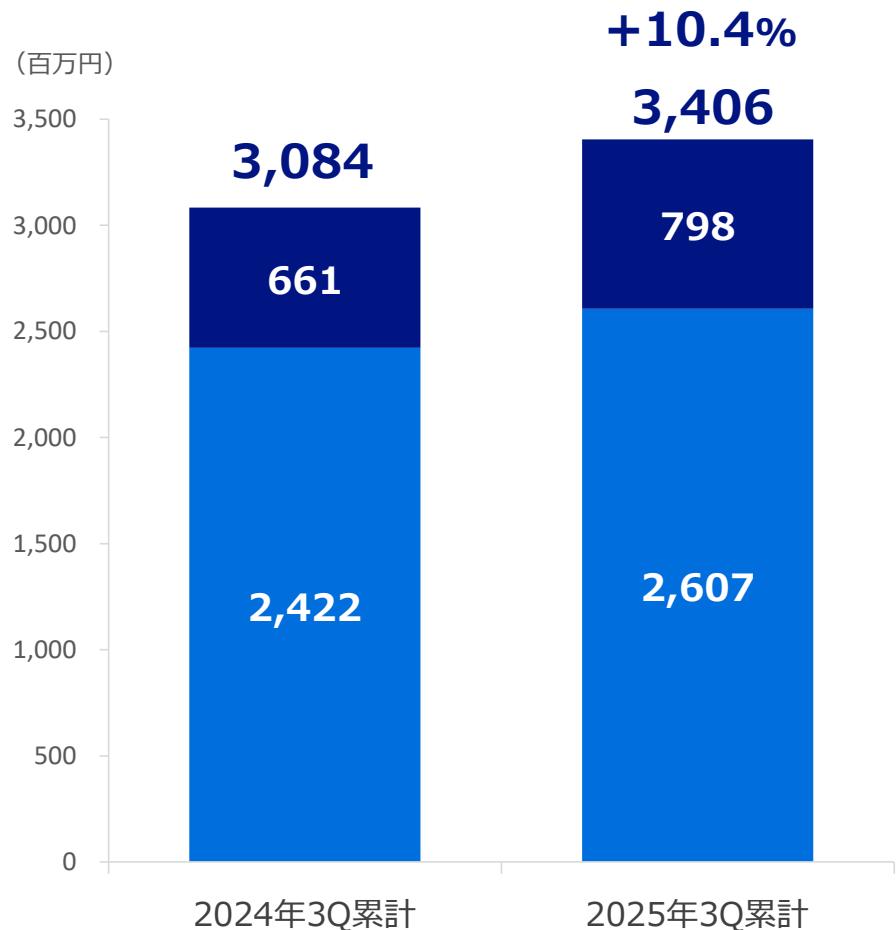


※数値は船井総合研究所のDXコンサルティング売上高



※数値はグループ全体のグロースクラウド（Zohoプロダクト）累計導入企業数

(3) ロジスティクス事業における業績動向 =業務区分別売上=



物流コンサルティング (クライアントの物流コスト削減等)

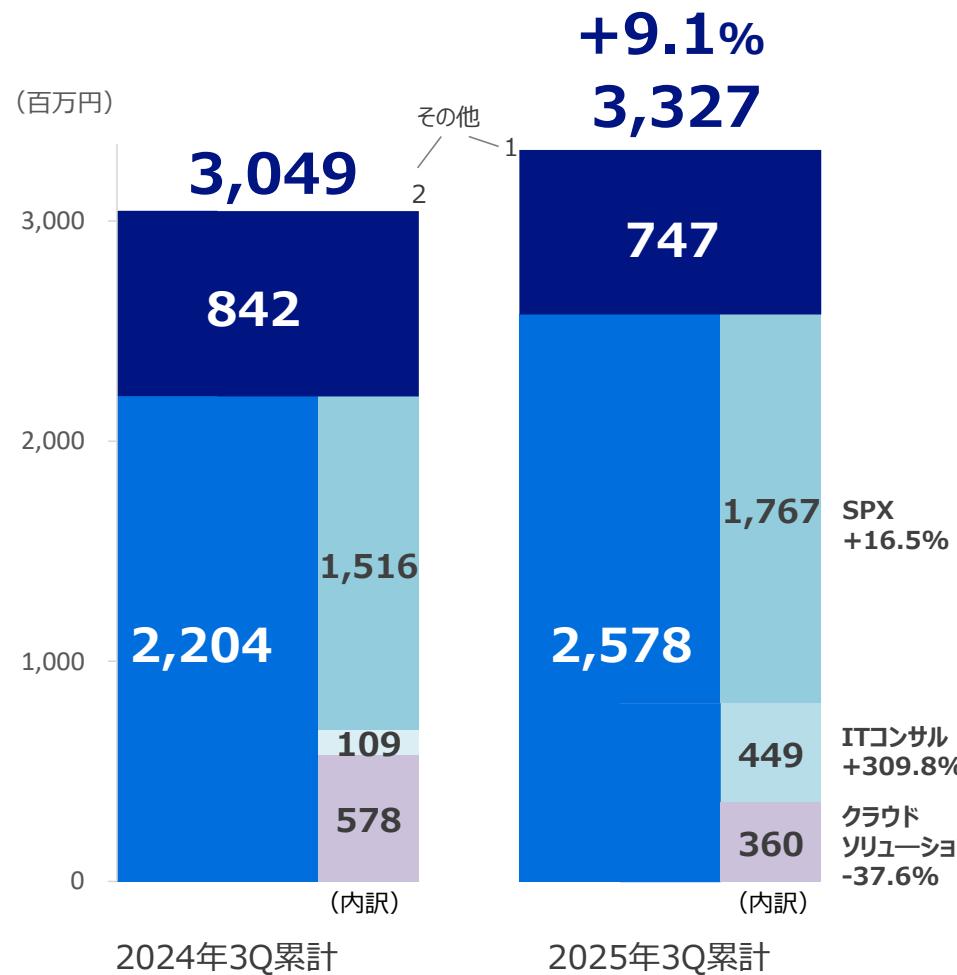
- ・物流企業向けコンサルティングは引き続き好調に推移し、経営研究会会員数も順調に増加
 - ・荷主企業向けコンサルティングは、新規プロジェクトや既存顧客からの継続受注があり堅調に推移
- ※2025年9月末時点経営研究会会員数：393会員
(前年同期：340会員)

物流BPO (クライアントの物流業務の管理・運用、 共同購買などによる購買コスト削減等)

- ・一部、既存顧客との取引終了に伴い、売上の伸びが鈍化したものの3Q累計実績は堅調に推移

2. 2025年12月期 第3四半期決算報告

(4) デジタルソリューション事業における業績動向 =業務区分別売上=



HRソリューション

- ・リクルーティングクラウド（AI採用クラウドサービス）において、一部大型クライアントの広告予算縮小に伴い減収

デジタルソリューション

- <SPX (Sales Process Transformation)>
- 4月よりグループ化したアパレルウェブの寄与もあり、WEB広告運用代行業務の売上が増加

ITコンサルティング

- DXグランドデザイン策定からZohoCRM導入をはじめとした実装支援まで一気通貫の案件が増加し増収

クラウドソリューション

- 下請け型の受託案件の縮小に伴い減収

2. 2025年12月期 第3四半期決算報告

(5) 連結財務状況（要約貸借対照表）

(百万円)

	2024年 12月末	2025年 9月末	増減額	増減の主な要因
流動資産	17,756	18,685	+928	五反田オフィス売却により、現金及び預金が増加
固定資産	有形固定資産	6,507	2,944	▲3,563 五反田オフィス売却により、土地と建物及び構築物が減少
	無形固定資産	661	1,643	+982 グループインした子会社ののれんが増加
	投資その他の資産	6,513	7,462	+948 新オフィスの敷金による増加
資産合計	31,438	30,735	▲703	
流動負債	6,274	7,369	+1,094	従業員の賞与引当金の増加
固定負債	174	250	+76	その他に含まれるリース債務が増加
負債合計	6,449	7,619	+1,170	
純資産合計	24,989	23,115	▲1,873	自己株式取得による減少。自己資本比率は72.7%を維持
負債純資産合計	31,438	30,735	▲703	

2. 2025年12月期 第3四半期決算報告

(6) TOPICS

①経営研究会全国大会2025を開催 (第98回経営戦略セミナー)



- ・日本最大級の経営者向けセミナーアイベントを5日間開催
- ・総勢50名以上の現役経営トップがゲスト講師として登壇し、成長意欲溢れる約2,500社の経営者・経営幹部が参加

②インド現地法人「Funai Consulting India Private Limited」を設立



- ・船井総研グループとして初めてインドに現地法人を設立
- ・グローバル・ケイパビリティ・センターとしてグループ全体のDX推進を加速

会社名	Funai Consulting India Private Limited (船井総研インディア)
代表者	真貝大介 (株式会社船井総合研究所 代表取締役社長)
設立	2025年11月 4 日
所在地	インド・ベンガルール
資本金	6,000万ルピー (約 1 億円)
資本構成	株式会社船井総研ホールディングス 99%、 株式会社船井総合研究所 1%

2. 2025年12月期 第3四半期決算報告



(6) TOPICS

③HR Forceと船井総合研究所人的資本経営支援本部が統合し、社名を「船井総研ヒューマンキャピタルコンサルティング」へ変更



- ・コンサルティング領域を採用中心からHC（Human Capital）領域である採用・育成・定着まで一気通貫で支援する体制を確立

新商号	株式会社船井総研ヒューマンキャピタルコンサルティング
旧商号	株式会社HR Force (株式会社船井総合研究所 人的資本経営支援本部と統合)
変更予定日	2026年1月1日
代表者	村田泰子
社員数	約150名（予定）
事業内容	人的資本領域に特化した経営コンサルティング

④船井総研ロジ
「船井総研サプライチェーンコンサルティング」
へ社名変更



- ・コンサルティング領域を物流からサプライチェーン全体へ拡大し、事業成長をさらに加速

新商号	株式会社船井総研サプライチェーンコンサルティング
旧商号	船井総研ロジ株式会社
変更予定日	2026年1月1日
代表者	橋本直行
社員数	約85名（予定）
事業内容	サプライチェーン・ロジスティクス領域に特化した経営コンサルティング

(6) TOPICS

⑤株式分割の実施を決議

<目的>

株式の流動性の向上および投資家層の拡大

概要	
基準日	2025年12月31日
効力発生日	2026年1月1日
分割割合	普通株式 1 株につき 2 株
分割前 発行済株式総数	50,000,000 株
分割後 発行済株式総数	100,000,000 株

■配当金について

本株式分割の効力発生日は2026年1月1日であるため、2025年12月31日を基準日とする2025年12月期の期末配当金は、株式分割前の株式数を基準に実施

⑥女性活躍の取り組み優良企業として「えるぼし認定」を取得

グループ3社において、厚生労働大臣より女性活躍推進に関する優良企業として、「えるぼし認定」を取得



株式会社船井総研ホールディングス
(3つ星:最高位)



株式会社船井総合研究所
(3つ星:最高位)



株式会社HR Force
(2つ星)

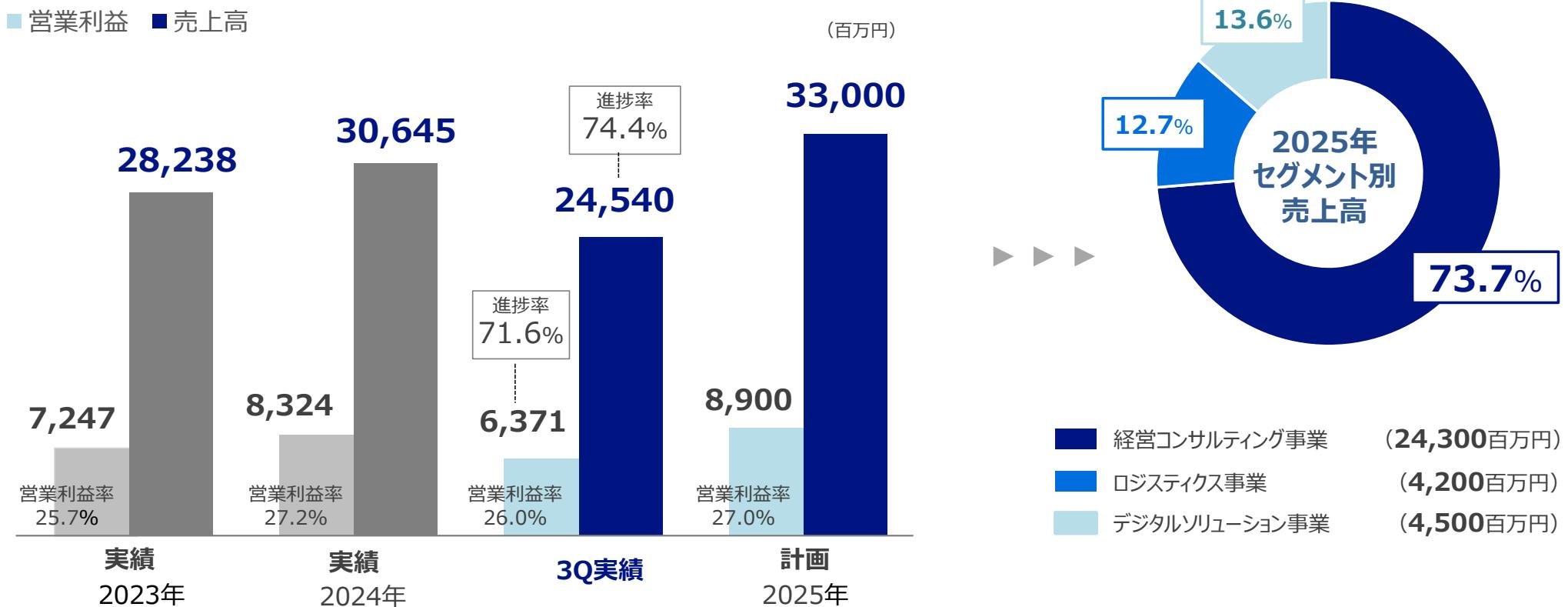
業績予想と成長戦略

3. 業績予想と成長戦略

(1) 中期経営計画の進捗状況

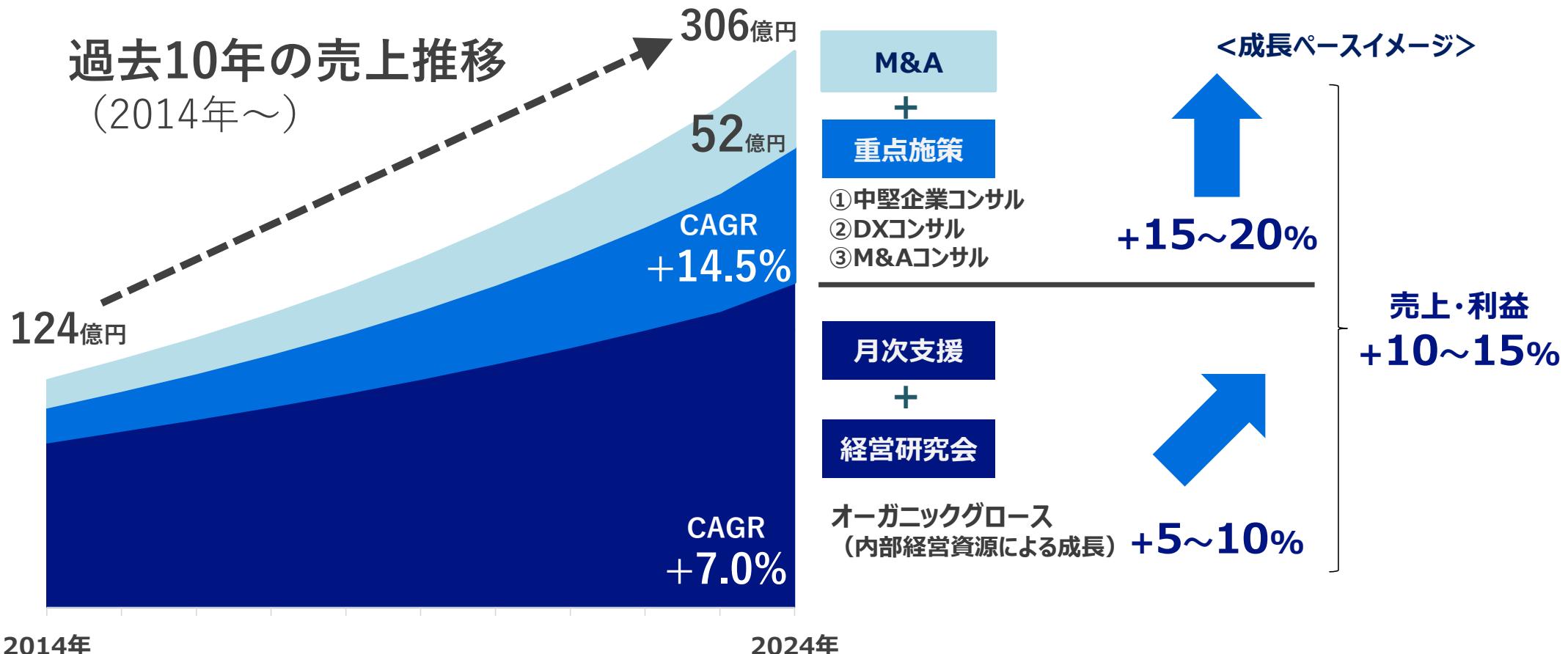
高い収益性は維持しつつ、2025年はグループ売上高330億円、営業利益89億円を計画

■ 2023年～2025年度 売上高及び営業利益の実績と計画



(2) 当社グループの成長戦略

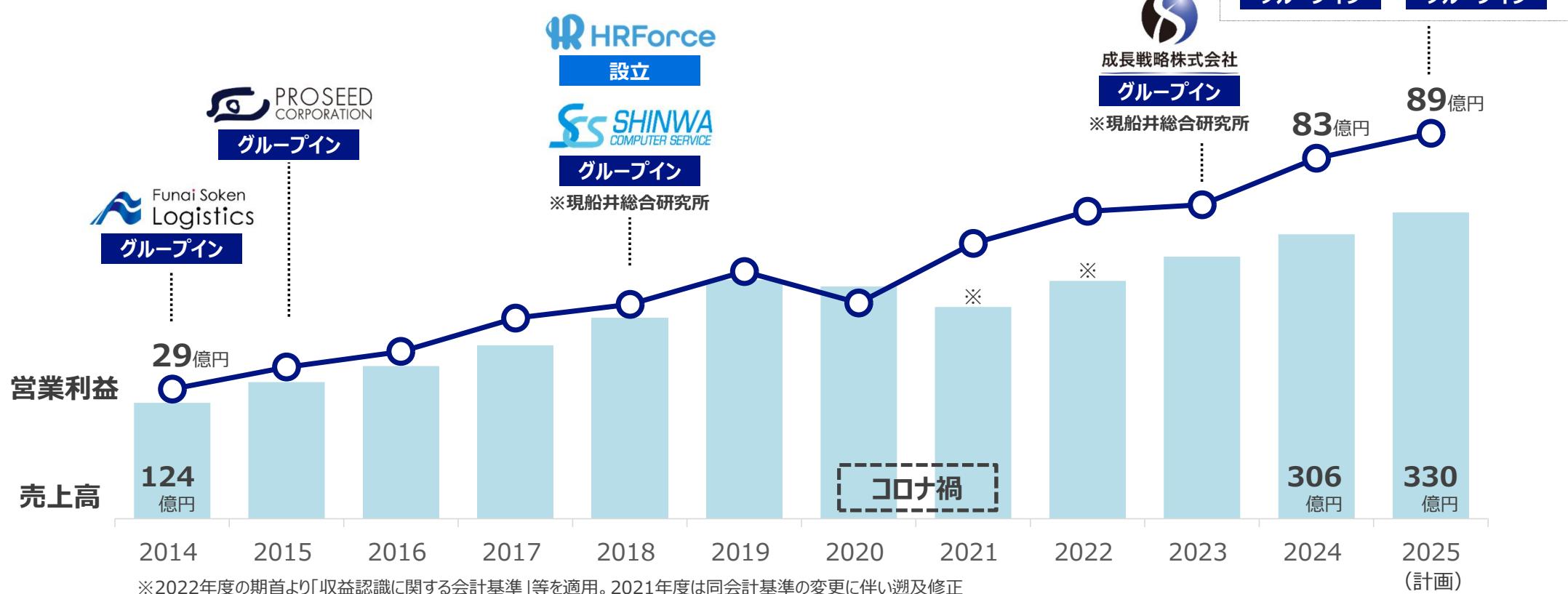
オーガニックグロース+重点施策+M&Aで持続的に2桁成長を目指す



3. 業績予想と成長戦略

(2) 当社グループの成長戦略

2014年のホールディングス化以降、M&Aや新規会社設立により
事業領域を拡大し順調に成長



※2022年度の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用。2021年度は同会計基準の変更に伴い遡及修正

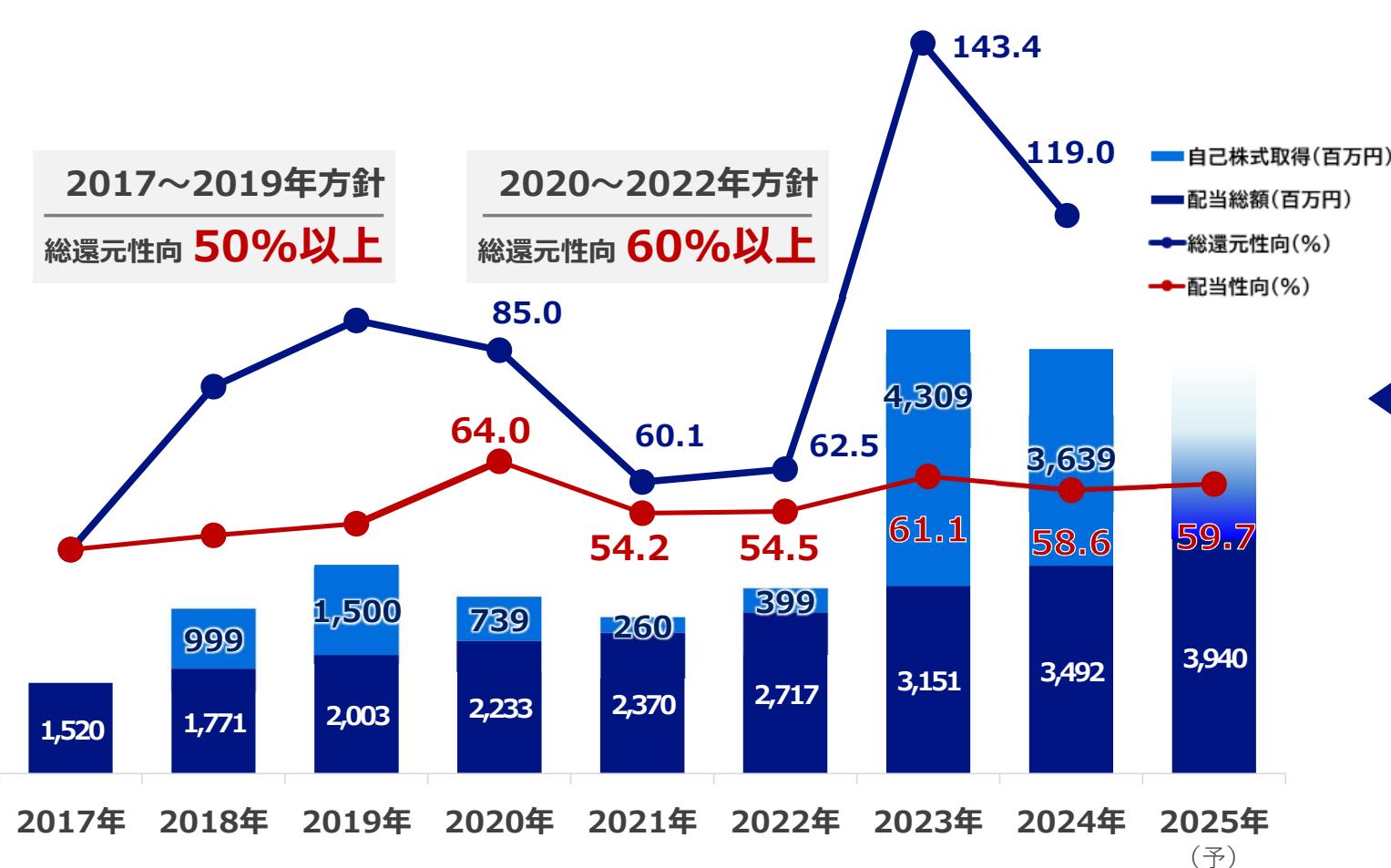


株主還元

4. 株主還元

(1) 株主還元方針

継続的な増配や自己株式取得など引き続き高い株主還元策を実施



2023～2025年 株主還元方針

総還元性向

60%以上

かつ
配当性向

55%以上

+

機動的な
自己株式取得

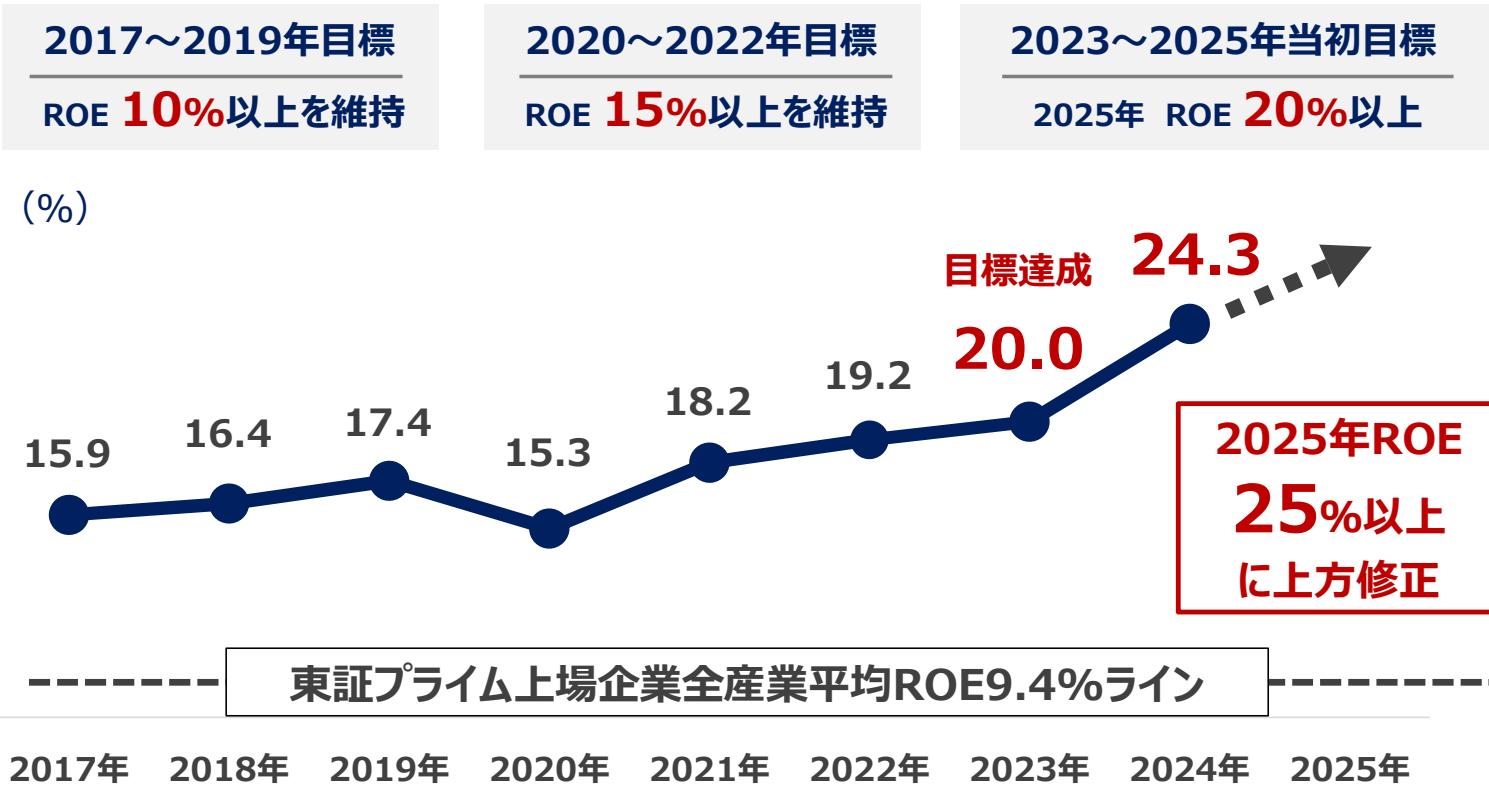
+

増配継続※

※2011年12月期より
14期連続増配中

(2) 資本効率目標

持続的な企業価値の向上を目指し、2025年ROE目標値を20%以上から25%以上へ



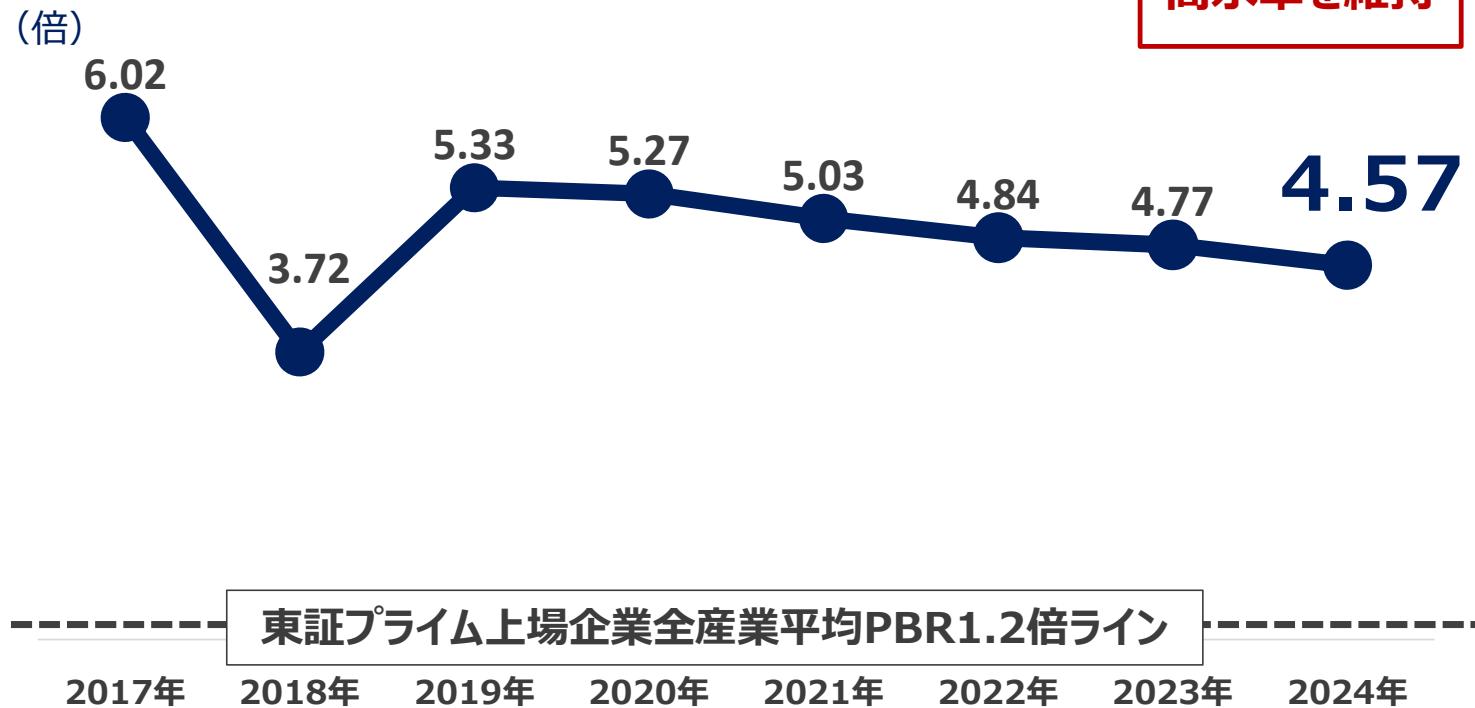
資本効率目標

2025年ROE
25%以上
に上方修正

※東証プライム
上場企業全産業
平均ROE
9.4%
(出所)
東京証券取引所
「2025年3月期決算短信集計」

(3) 株価水準目標

PBR（株価純資産倍率）は、今後も引き続き高水準の維持を目指とする



株価水準目標

2025年PBR
高水準を維持

※東証プライム
上場企業全産業
平均PBR

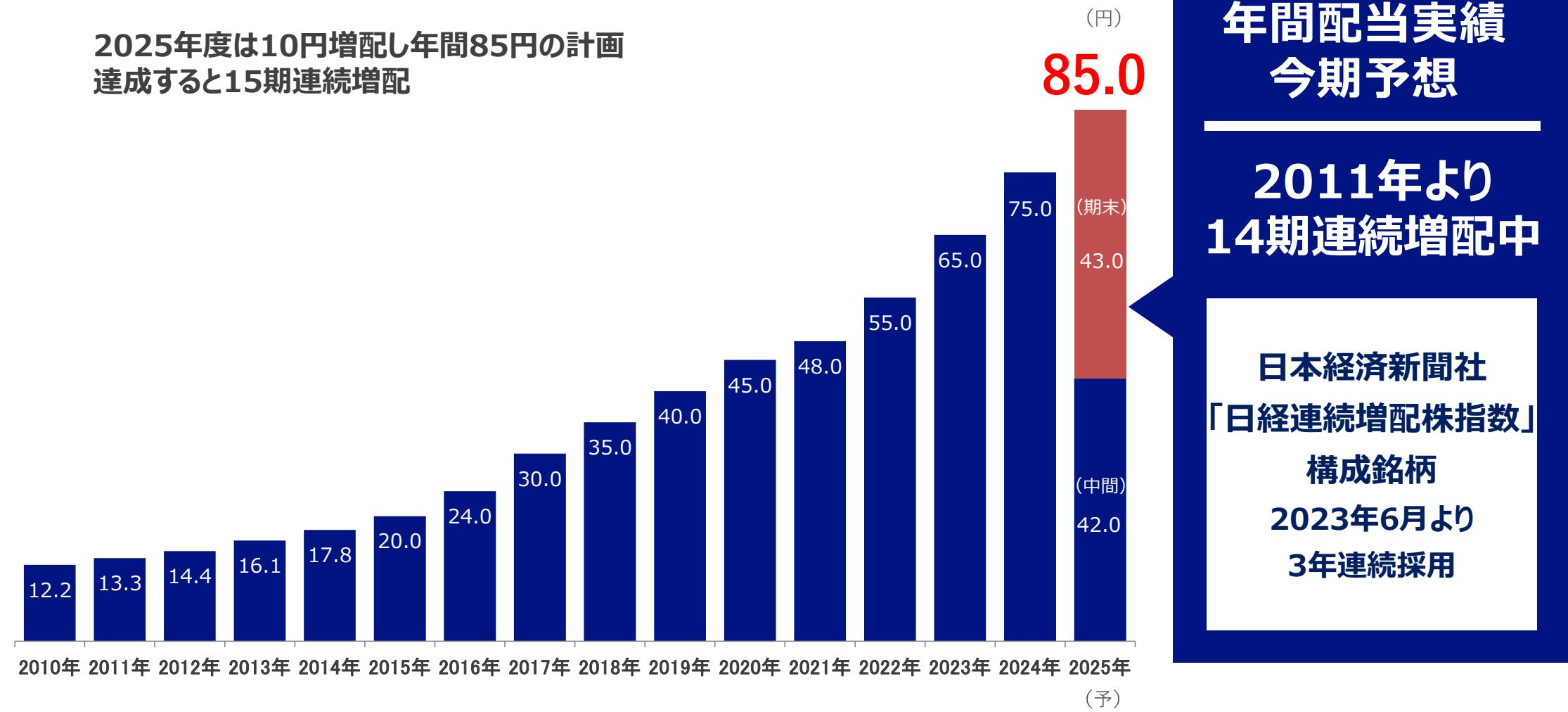
1.2倍

(出所)
東京証券取引所
「規模別・業種別PER・PBR
(2025年3月末)」

4. 株主還元

(4) 配当について

2025年度は10円増配し年間85円の計画
達成すると15期連続増配

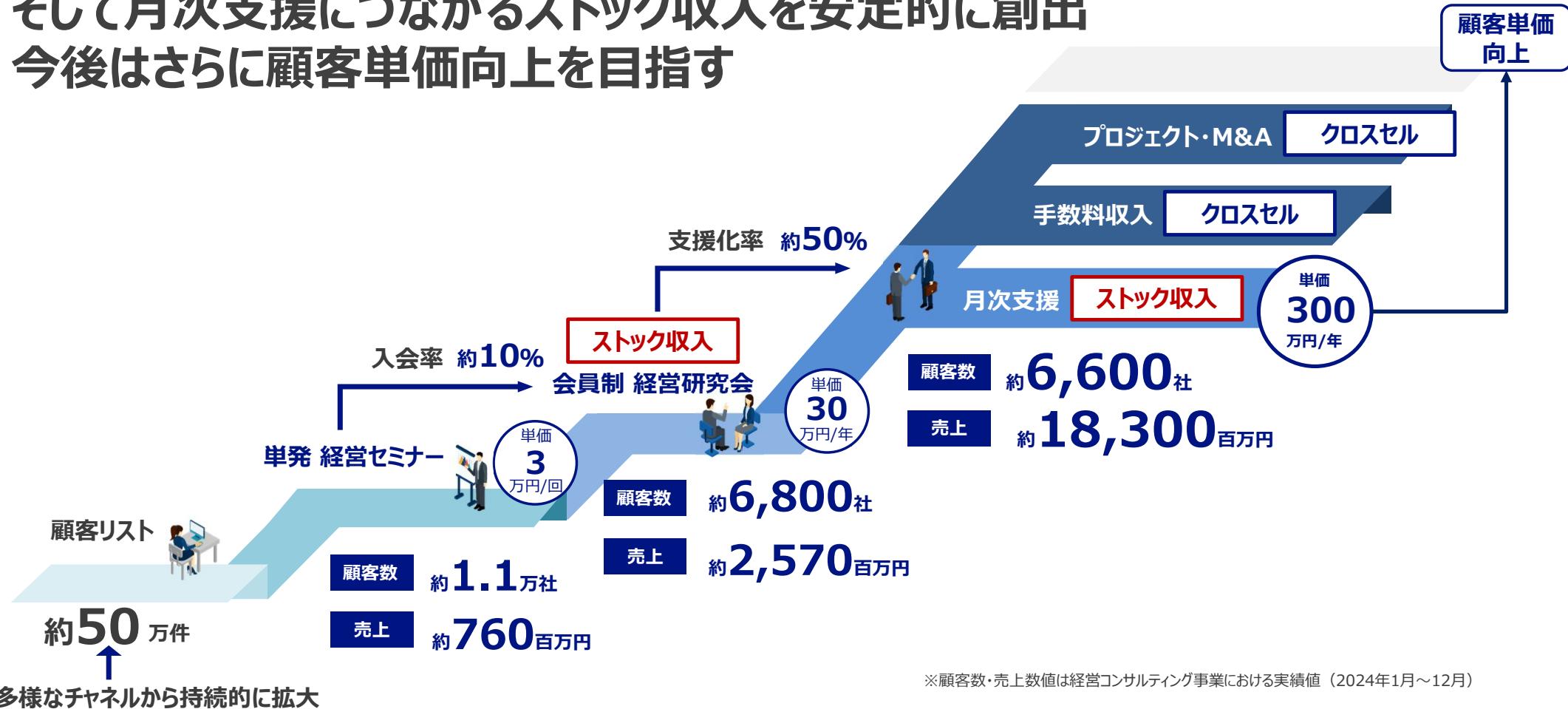




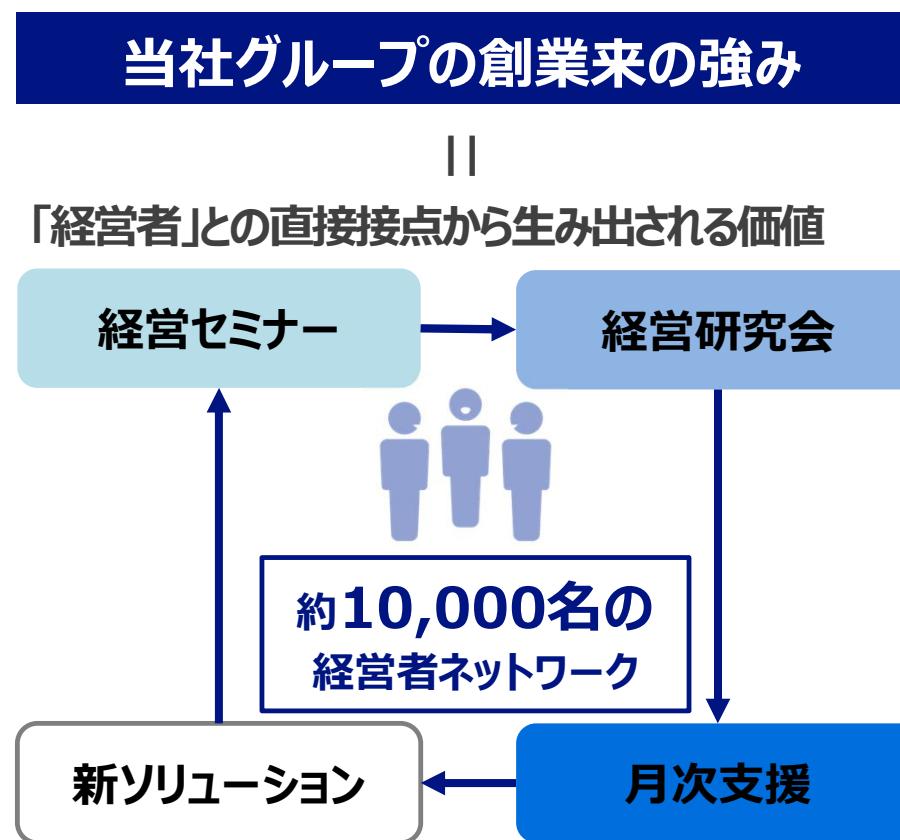
(参考資料)

ビジネスモデル・競争優位性

経営セミナーから顧客基盤のベースとなる経営研究会
そして月次支援につながるストック収入を安定的に創出
今後はさらに顧客単価向上を目指す



経営セミナーを起点とする循環型サイクルで 新規顧客獲得と安定継続受注



＜経営研究会＞ 同業種の経営者の情報交換 「師と友づくり」の場



中堅・中小企業経営者のための 「業種・テーマ別経営者塾」

- ・コンサルタントからの最新情報
- ・全国の成功事例の共有
- ・経営者同士の情報交換

＜月次支援＞ 業種別専門コンサルティングチームが 具体的な実行支援まで伴走



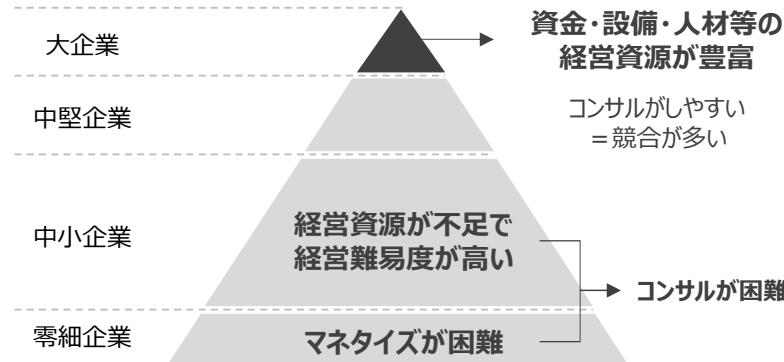
中堅・中小企業経営者のための 「業種・テーマ別家庭教師」

- ・顧問契約型コンサルティング
- ・全国の成功事例に基づいた
実践的な成長実行支援

他のコンサルティング会社との違い① 中堅・中小企業を重点顧客としたビジネスモデルを確立

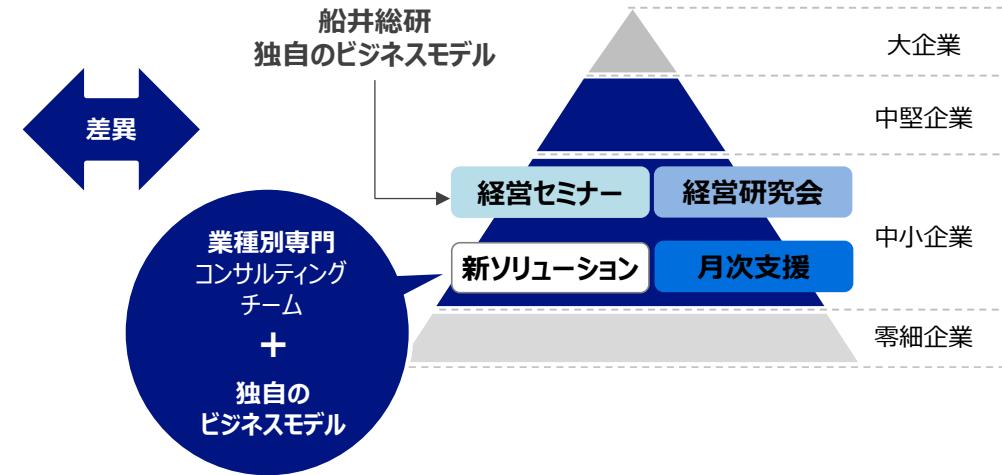
一般的なコンサルティング会社

大手企業を中心に展開



 Funai Soken

中堅・中小企業を強力に支援



他のコンサルティング会社との違い② 営業拠点を東京・大阪に集中、高効率&高収益性の経営を実現

一般的なコンサルティング会社

営業拠点拡大によって顧客接点を持つ

拠点コストや営業コストがかかり、
またコンサルタント間の
ノウハウの共有や品質の維持が難しい

各拠点
エリアごとに
顧客へ営業
(Push型)



差異

 Funai Soken

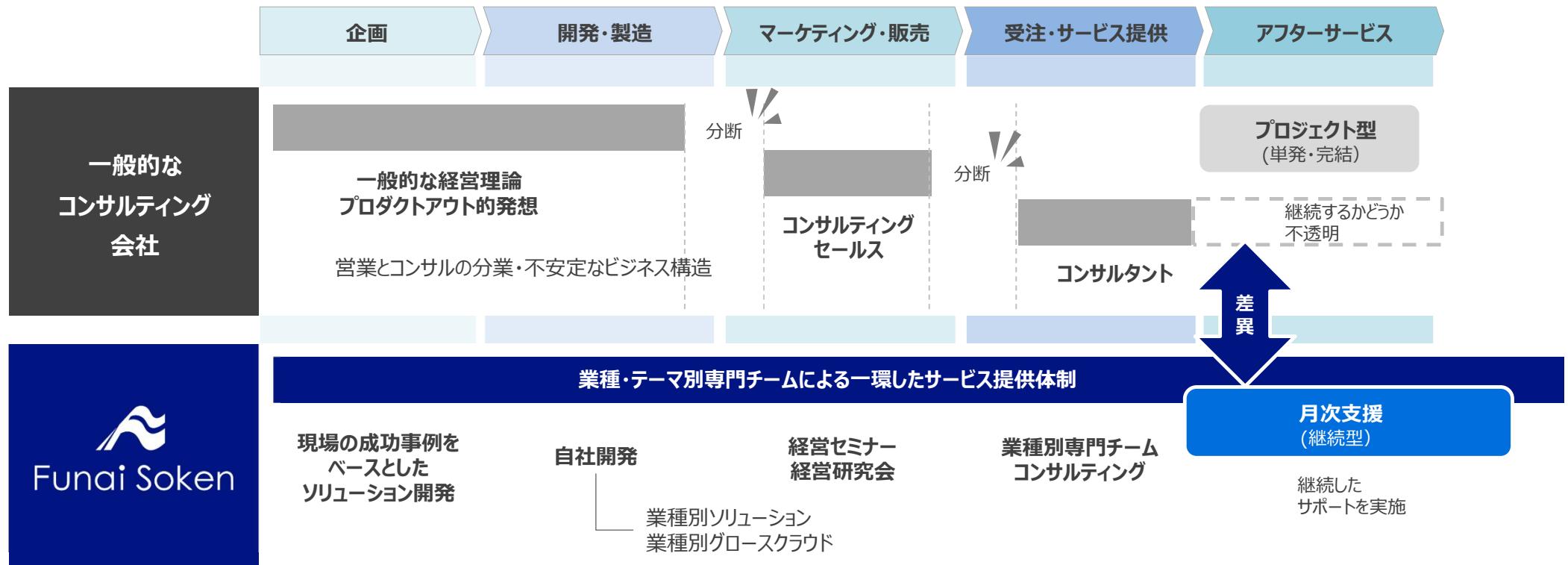
営業拠点を東京・大阪に集中
専門性によって、全国から顧客が集まる

拠点コストや営業コストを抑え、
またコンサルタント間の
ノウハウの共有や品質の維持にも貢献

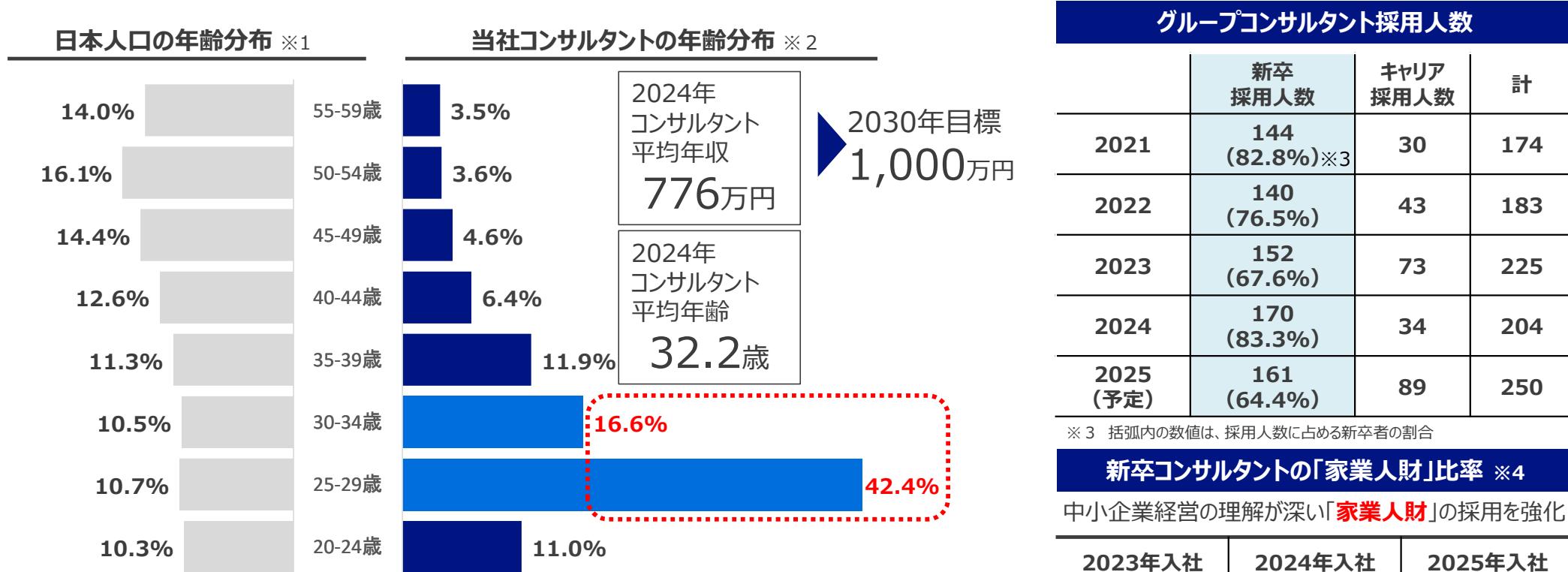
各業種の
経営者から
専門コンサルティング
チームに相談
(Pull型)



他のコンサルティング会社との違い③ コンサルティング業界のSPAにより高い収益性を維持



他のコンサルティング会社との違い④ 新卒中心・家業人財の採用・育成強化による人的資本経営を推進



※1 (出所) 総務省統計局2024年10月1日年齢別人口統計

※2 船井総合研究所コンサルタント職の年齢別分布 (2024年12月31日現在)

上記数値のそれぞれ20～59歳の総人数を100%として各年齢構成比の割合を算出

※4 船井総合研究所新卒コンサルタント職採用のうち、実家に家業を持つ
(企業経営者のご子息・ご息女) 割合

グループパーカス

サステナグロースカンパニーをもっと。 Sustainable Growth for More Companies

どんな時代にも成長し続ける企業を増やし、あらゆる人が幸せにその可能性を開花させ、
社会の生産性をも上げられる。そんな未来を私たちがリードしよう。

【本資料に関する注意事項】



本資料に掲載されております計画や見通し、戦略等は、現時点において入手可能な情報や合理的な判断を根拠とする一定の前提条件に基づいた当社の判断による予測です。

従いまして実際の業績等は、今後の様々な要因により、これらの見通しとは大きく変動する場合があります。

本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた損害などに関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料は投資誘導を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われるようお願い致します。

IRに関するお問い合わせ先

株式会社船井総研ホールディングス コーポレートストラテジー部 IRチーム

TEL: 06-6232-2010

Mail: ir@funaisoken.co.jp ホームページ: <https://hd.funaisoken.co.jp>



株式会社シェアードリサーチによるアナリストレポート
<https://sharedresearch.jp/ja/companies/9757>
本レポートは予告なく公開終了となる場合がございます



「船井総研グループ 統合レポート 2025」
https://hd.funaisoken.co.jp/file/web_report2025.pdf